



# フォレスターうじ 会報

第277号  
令和4年3月1日発行  
森林ボランティア  
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

## 二月定例活動

緑の募金による植樹とシイタケ植菌体験会、他  
活動日 二月二十日(日) 曇  
活動時間 九時四十分〜十四時三十分  
活動場所 天ヶ瀬森林公園  
参加者 会員 十五名  
京都府立大学森なかま 五名  
一身体験 一名

会員の車の故障などが発生し、開始時間が少し遅れた。が、雨の天気予報が外れ、寒いながらも心地よい森林公園での活動であった。

午前は、宇治市森林組合と山城モデルフォレスト推進協議会から緑の募金による苗木の植樹を行った。まず、小林会員をリーダーにヤマザクラ一本を憩の広場に、そして林会員をリーダーにヤマザクラ五本、シダレサクラ二本、栗二本、クロ二本、クロモジ二本、蠟梅二本を京都大作戦の森に仮植えをした。この仮植えの苗木は林道沿いに本植えするつもりだが、鹿の食害防止対策を決定してからとした。

お昼には寒さ対策としてみんなでカップ麺を食した。美味しかった。

午後は、シイタケ植菌体験を小林、新宮両会員の指導のもと、森なかまのメンバーらが楽しんだ。ホダ木はコナラとサクラを二十八本用意した。他、水野会員がリーダーになり、冒険の道から野鳥観察小屋に至る坂道の階段設置の予備調査を行なった。また、林道沿いの水道の水の出が悪く、修理困難ということだった。

活動終了時、来年度の二十五周年記念事業の分科会をそれぞれ行なった。

(記 木曾 宗統)



2/20 シイタケ植菌体験(上・左)  
(写真 林幸広)



2/20 京都大作戦の森で苗木仮植え(上・左)  
(写真 林幸広)



2/20 憩の広場でヤマザクラの植樹  
(上の写真 田中一夫)

## エッセイ

感想(フォレスターうじの活動)

緑の募金によるサクラ等植樹に参加して)

京都府立大学 森林ボランティア森なかま 高野 龍也

今回は苗木の仮植えとシイタケの植菌という貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

午前中の仮植えでは、ヤマザクラやクロモジ、クワなどの普段から馴染みがあったり、大学で習ったことがある樹種を実際に扱えてとても楽しかったです。幼樹を植えるための穴をスコップで掘るのは大変な仕事でしたが、交代で取り組むことができたのでよかったです。新しい落葉を土と一緒に根にかけるのは根に悪影響を与えるということを知りました。

午後のシイタケ植菌は慣れてくるとテンポよく進めることができ、ドリルでの穴開けもハンマーでの打ち込みも爽快感があり、楽しく作業をすることができました。シイタケを収穫できる頃が楽しみです。

その他にもノコギリの使い方を教えていただいたり、シカ対策や間伐のお話を聞くことができました。一日を通して学べることが多くありました。また、去年私達が参加させて頂いた活動で植えた樹木が無事に育っていることも確認でき嬉しかったです。

森林での作業は体力的に大変なこともありましたが、終わった後には達成感があり、森林のためになる活動もでき、とても価値のある経験ができました。この経験を今後のサークル活動や大学での勉学に活かしていきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

## エッセイ

ふくろう

田中 一夫

太陽が丘の森にはフクロウがいます。公園内を歩いていたときにこれまで二回見かけました。一回目は城陽側ゲートからふれあいの森に抜ける細い小道、人の背より高い木の枝に止まっています。見た瞬間に飛び立って、頭の上を飛び越して見えなくなりました。二回目は宇治側ゲートのバス停の屋根に止まっています。それも見た瞬間に飛び去ってしまいました。いずれも夕暮れ時、一瞬見ただけでしたので種類まではわかりません。でもここ一年くらい出会えていません。太陽が丘を散歩するときは、もう一度姿を見たくて上を見ながら歩いていきます。

公園を散歩していると小鳥たちをよく見かけます。小鳥に詳しくないので名前はわかりませんが、冬は葉が落ちていないので小鳥の姿を見つけやすいです。小鳥は木の実を食べるので種をどこかへ持って行ったり、糞として落としたりして種を遠くへ運んでいるそうです。小鳥も種を蒔いて木々を増やすのに役立っているようです。小さいながらも森林保全に貢献しています。

フォレストアージュの活動を通して緑豊かな天ヶ瀬森林公園や太陽が丘を守り、もつと多くの小鳥たちが集まる森林公園にできればと思います。



## エッセイ

散歩の楽しみ

山口 香屋子

公園の散歩をするなら冬がいい。のんびり歩いてると、足下の道には木漏れ日が差し込み、見上げた梢からは青い空に雲が流れる。冷たい空気に深呼吸すると心が静まってくる。歩を止め、耳を澄ますと、不思議にあらちから鳥の音が聞こえてくる。シジュウカラは常連さんだがなかなか姿は捉えられない。ヤマガラは人懐こく間近に寄ってくる。コゲラはコツコツと木を穿つ音で見つけやすい。飛んで行ってしまわないのでバードウォッチング初心者向けだ。豪快に落ち葉をかき回しているのはツグミ。気づかれないように眺めていると時間を忘れる。葉を落とした木々はカサカサとして、その中に命の働きがあるように。とても思えないがしっかりと小さな芽がついている。それが日差しとともに膨らみ、遠目にも赤みを帯びてくるようになる。春は近い。

宇治には少し足を延ばすと太陽が丘、大吉山、巨椋池干拓地と良い散歩コースがある。天ヶ瀬森林公園は健脚コースとなり、散歩に来るには少々体力が必要となるのが残念だが、天ヶ瀬再開発計画とやらで、観光だけでなく住民のための散歩コースとなるような計画も期待したい。フォレストアージュでも活動日以外に散策の日などを設けてゆっくりと歩くことで様々な天ヶ瀬の森の姿が見えてくるかもしれない。そこからまた違った楽しい活動が生まれるかもしれない。新しい何かが見つかるのも冬散歩の楽しみとなる。



## 今後の活動・行事の案内

令和四年四月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

四月定例活動

四月十七日(日) 天ヶ瀬森林公園

・フォレストアージュ総会

四月特別活動

四月二十九日(金) 宇治市植物公園

・宇治市主催「緑のウォークラリー」に協力

## フォレストアージュからのお知らせ

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。新しい仲間を募集中、先ずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千元

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ 事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



## 編集後記

久しぶりに森なかまの若い仲間が活動に参加してくれた。先月の活動日に枯れたため伐倒したサクラを、今回チェーンソーで厚さ5cmほどに輪切りしたところ、活用したいと彼らが言ってくれた。森の資源の循環、嬉しいことだ。

(会報担当 木曾 宗統)  
(写真担当 林 幸広)